

第7回 菱野団地再生計画推進協議会

議事要旨

日時：令和7年3月27日（木）10時～12時10分

場所：瀬戸市役所 東庁舎4階 大会議室

1. 開会

- あいさつ
- 委員紹介
- 資料確認
- 副会長の選任

事務局 資料の説明の前に副会長の伊藤さんがご逝去されたので副会長の選出をしたい。副会長は会長が選出することとなっているので、石川会長よりご指名いただきたい。

石川会長 エリアマネジメント団体であるみんなの会の会長代理を務められている北村委員にお願いしたい。

北村委員 承った。

2. 令和6年度の活動状況等（資料1、および資料1-2）

- 事務局、みんなの会事務局長からの資料説明

- 質問・意見交換等

水野(養)委員 事務局長よりもご説明があったが、みんなの会の周知が不十分であるということは自治会側の立場としても認識をしている。引き続き、回覧等による周知を行っていく。

石川会長 みんなの会のみなさんはボランティアで動かれている。1万人ほど住民はいるので、周知を行い、メンバーを増やし、活動を継続して行ってもらいたい。

3. 再生計画のプロジェクト進捗状況・予定（資料2）

- 事務局からの資料説明

- 質問・意見交換等

北村委員 先ほど学生や地域住民とまち歩きを行い、課題の発見を行ったとあるが、市からの情報共有があまりされておらず、原山台連合自治会として実施をした。直近だと、菱野団地

の商店街の駐車場が狭いとの声が住民から私の方に上がってきて、連合自治会から商店街に依頼を行い、駐車幅を広くしてもらうなどの整備を行ってもらった。

昨年9月に独自で開催したまち歩きの際にも、商店街のアーケードの劣化などに関する意見はあった。商店街はみつば小学校開校後、原山台と萩山台のこどもたちの通学路になるので市に報告して整備を行って貰おうと思っていたところである。このような計画があるのであれば、市から自治会に対して情報共有を行い、同じ問題を別々で考えないように連携を図っていくべきではないか。

事務局 連携を図っていくべきであることは認識している。連携・周知ができていないことについては事務局側として反省すべきことである。来年度もまち歩きなどの実施は引き続き行う予定であるので、事務局が把握している内容については自治会長を通じて情報共有を図り、連携して問題解決を行いたいと考えておるので、引き続きご協力のほどお願いしたい。

石川会長 「みんなで進めていく」再生計画である以上、情報の共有は必須である。個別で動かないように、連携をしていただきたい。

服部委員 菱野団地市民サービスセンターが9月末を以て閉鎖することだが、それは再生計画の内容に相反するものではないかと考える。

窓口業務はコンビニ等でできるものが増えてはいるものの、市民の相談ごとや、団地に住む外国籍の市民に対するサポートは今後どうなっていくのか危惧している。

事務局 現段階では方向性をお示しすることはできないが、団地に住む住民に対するサポートという面で、今回の意見を承り今後のサービス提供に向けての参考にさせていただく。

大秋委員 高齢者や障がい者、外国人等も含めて、市民は手続きをできる場所ではなく、相談ができる場所を求めている。そういった場所をみんなの会や地域で提供できたらと考えている。まごころとして、みんなの会の拠点施設の隣でそういった相談場所を広くできたらと考えている。

石川会長 デジタル化が進む一方、高齢化が進み、そういった手続きができない方も増えている。市もサービスセンターの閉鎖問題について、そのような意見も踏まえ議論を進めていただきたい。

神田委員 手続きをする際に必ずコミュニケーションが発生するような仕組みを作ってもらえると市民が取り残されるようなことはなくなるのではないかなと思う。また多文化共生に関して、大学生とのまち歩きの際に抽出された意見が公開されているのかが気になった。多文化に関して、イベントの開催も必要ではあるが日常でも繋がりを作る仕組みを作ってもらふことが必要であると考えている。原山台でマルチ文化の取り組みをされていると認識しているので、そういった取り組みを団地全体で行えるようにしてもらいたい。

石川会長 まち歩きワークショップを行った内容は公開されていないので、大学間で話しあって公開できるようにする。

4. 再生計画の目標達成状況（資料3）

○事務局からの資料説明

○質問・意見交換等

- 水野(養)委員 八幡台では県営住宅の建て替えを行っており、団地の住民が現在団地外に出ている状況である。建て替え後は戻って来てくれると思うので、数値よりかは実際の人口は多いと思われる。
- 水野(和)委員 目標達成状況に対する実績値とあるが、現在の評価としてはどのようにとらえられているのか。
- 事務局 ①総人口、②40 歳未満の人口割合の目標値については届いていないので、評価として達成はできていないという状況は把握している。ただ、⑥満足度、⑦居住意向について市としてはより重きを置いていきたいと考えている。
- 大秋委員 わたしは原山台に古くから住んでいるが、県営住宅の人口が減っているのは実感しているが、一方で戸建て住宅を建て替えて、若い世代の方が住んでくれているように感じている。瀬戸市は教育を重視した政策が多いと感じている。みつば小学校の開校に向けて、市に魅力のある政策を増やしていただけるともっと若い世代の方が住んでくれるのではないかと感じる。
- 石川先生 開発当時に建設された二戸連や四戸連の住宅について住宅を分けて新しく建て替えるといった整備も増えてきている。ソフトとハードが充実すると若い世代の割合も増えると思われる。
- また、中心市街地では同じく人口減少の影響によって統廃合したにじの丘学園が令和 2 年に開校し、その学校に行きたいという世代がその近隣に移住し、教育と人口の相関関係についてのいい前例があるので、みつば小学校も同じように団地に良い影響を与えられるような学校にしていきたい。
- ただ、分譲住宅は空きもあまりなく、県営住宅も老朽化が進んでおり、人があまり入っていない状態が続いているので、改善の余地はあると思われる。

6. 「南山大学 石川教授 研究報告」

○石川会長からの資料説明

7. 「名城大学 鈴木教授 研究報告」

○鈴木委員からの資料説明

- 服部委員 毎週 1 回こども食堂を開催しているが 50 人ほど集まっている。1/3 ぐらいが外国籍のこどもである。多くは県営住宅に住んでいる方である。長期休暇中は週 1 回だと足りないぐらい人が集まる。

外国人住民に向けての対応は必要になってくると感じている。週に1回、日本語教室も開催をしているが、週1回（日・夕）では足りず現状週2回（日・夕、火・夜）開催をしている。当初はペルーとブラジルの方が参加されていたが、いまはベネズエラやフィリピンの方も参加されるようになった。

石川会長 菱野団地は住民の約1割が外国籍の方のため、ことばの問題に向き合うことは必要だと感じる。

渥美委員 令和7年におけるみんなの会の活動予定に多文化共生を記載している。みんなの会は人員が不足しており、みんなの会として外国人向けのサポートを実施していくことは難しいため、多文化交流フェスタのような単発イベントを開催するだけではなく、団地内のNPO団体と連携して、協働でサポートできるような体制を整えたい。

神田委員 当初から提案をさせていただいているが、この再生計画の委員に外国人にルーツのある方がいないので、今後多文化共生を進めていくにあたり、この協議会で外国人住民の代表的な存在を委員として登用していく必要があると思われる。外国人へのサポートももちろん必要ではあるが、問題に直面しているのは外国人も高齢者も障がい者も単身者もおなじで市民全員が困っているの、みんなで取り組む必要があると思われる。

石川会長 問題を抱えている市民への援助は団地内で非常に重要である。神田委員には引き続き援助の方をお願いしたいと考えている。また、協議会のあり方、役割についても今一度確認をしていく必要があると思われる。

本日は愛知県 公営住宅課にご出席いただいている。先ほどの鈴木委員の発表にもあったが、県営住宅の建て替えについてご意見を伺いたい。

< 愛知県 公営住宅課武田様より資料をもとにご説明 >

石川会長 また情報交換を引き続きしていきたい。

○今後の予定

- ・第8回協議会は、令和7年度末に開催する予定。

以上